



学校だより

〒952-1311 新潟県佐渡市八幡 2002 番地 Tel 0259-57-2602 Fax 0259-57-2604
<http://yahata-es.sado.ed.jp/> (HPにカラー版の学校だよりを掲載)

人口4000人の常呂町から出場し、活躍した女子カーリング

校長 山崎 勝之

過去最多13個のメダルを獲得し、平昌オリンピックが閉幕しました。メダリスト以外の選手の健闘も含めて、日本中が大いに盛り上がりました。

カーリング女子団体戦で銅メダルを獲得したロコ・ソラーレ(LS北見)は、平成22年に本橋麻里さんが地元である北見・常呂に作ったクラブチームです。それまで、北見市には世界を目指せるような女子クラブチームはなかったそうです。

北見市常呂町は、長野オリンピックから6大会連続で、のべ25人、実人数で17人の選手をオリンピックに送り出しています。多くの優秀な選手を輩出してきましたが、その多くは進学や就職で常呂町を離れ、青森県や長野県の強豪チームに所属していました。しかし、トップ選手でいられなくなると戦力外として解雇されるなど、長く競技を続けられる環境にはなかったのです。そんな中、本橋選手は常呂町にロコ・ソラーレ(LS北見)を立ち上げました。

「そだねー」で有名になったサードの吉田知那美選手は、ソチオリンピックにも出場した優秀な選手でした。しかし、所属チームから戦力外通告を受け、失意の中、地元にもどりました。本橋選手に「もう一度世界をめざそう」と誘われ、LS北見に加わったそうです。

スキップの藤沢五月選手は、中部電力のエースとして日本選手権で4連覇していたにもかかわらず、ソチオリンピック代表決定戦で北海道銀行に破れ、オリンピックには出場することができませんでした。そんな挫折感から会社を辞め、失意の中、地元にもどりました。本橋選手から誘われ、LS北見に加わりましたが、仕事をしながらの練習について行けず、試合に勝てない日々が続く、自信を失っていききました。しかし、本橋選手の励ましがきっかけで、自分が先頭に立ってチームを引っ張らなくてもいい、弱みを見せてもいい、頼れる仲間がいるから一人じゃないと考えられるようになり、自信を取り戻していききました。その後は、日本選手権優勝、世界選手権銀メダルなど快進撃を続け、平昌オリンピック代表決定戦で中部電力に勝利し、オリンピック出場の夢をかなえました。このとき藤沢さんは、「4年前(代表決定戦)に負けてカーリングをやっていたいいんだろうかと思った。このメンバーで戦えて幸せ者だなと思う。」と述べました。

「この町にいなかったら夢はかなわなかった。場所なんて関係ない!」

オリンピック後に常呂カーリングホールで、サードの吉田選手が次のように話しました。

「正直、この町、何にもないよね。この町にいても、絶対、夢はかなわないと思っていた。だけど、今はこの町にいなかったら夢はかなわなかったな、と思う。たくさん夢はあると思うけど、大切な仲間や家族がいれば、夢はかなう。場所なんて関係ない。」

進学や就職で、4月から佐渡を離れる人もいるかもしれませんが、大切な仲間や家族がいるからこそかなう夢がたくさんあると思います。夢をもち、夢に向かって支え合いながら努力し続ける子どもを目指し、子どもたちにかかわっていかねばならないと感じさせてくれたLS北見の感動的なエピソードでした。



常呂教育事務所からいただいた練習風景写真



LS北見の練習場の常呂カーリングホール

鼓笛隊引継式

12月から引き継ぎ練習を始めました。担当楽器や役割がかわった子どもも多くいましたが、素晴らしい鼓笛演奏、演技ができました。



指揮杖と帽子を引き継ぐ



新主指揮が決意を表明



新メンバーでの演奏

6年生を送る会

連日「6年生と遊ぼう」などの6年生に感謝を表すイベントを実施しました。



6年生入場の際に活躍や貢献を紹介



総務委員会が企画した6年生紹介クイズ

2分の1成人式



4年生に1/2成人証書を授与



感謝の色紙を読んで喜ぶ6年生



6年生からのお礼の出し物



卒業記念のくす玉割り

メディア講演会



e-ネットキャラバンの取組として、サドテレビの武部健一様から保護者と5、6年生に対して講演をしていただきました。子どもたちを「ネット依存」「ネットいじめ」「誘い出し・なりすまし」「ネット詐欺」等のトラブルから守るためにどうすればよいかを話していただきました。その後、保護者と子どもが、家庭でメディアと関わる時間などを約束しました。

第2回学校保健委員会



八幡小学校の学校保健委員会には、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、八幡地区担当保健師、給食センター栄養士、PTA会長が参加しています。それぞれが専門性を生かした授業を行うことが特長です。第2回の委員会では、次年度の取組を話し合い、文科省から求められている、がん教育、自殺予防教育などにも少しずつ挑戦していくことが確認されました。

「I」佐渡名物の紹介「さどメック」から抜粋 No.4



さどぎゅう
佐渡牛

さど う さど さだ くるげ
佐渡生まれ、佐渡育ちの黒毛
わきゅう さど しゅうかく あんしん あんげん
和牛。佐渡で収穫した安心・安全
いな た さだ さど う
な稲わらを食べて育つ。佐渡で生
まれた子牛の多くは、競りに出さ
にほんかくち さどぎゅう きゅう
れ日本各地の高級ブランド牛と
なる。さどぎゅう さだ うし
は数が少なく「幻の牛」と呼ばれ
ることもある。